THE WOMAN'S WEEKLY
第三卷　第六號
大正六年二月九日發行（每週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□女生徒の常識……小橋三四子
□時事週評 □列强と戰時の經濟……佐伯主計中監
□一人一評＝仲小路やゑ子　綾野村人
□教育ある主婦へ（下）　高島平三郎
□新流行物語「日本髷と西洋髷」……近藤□
□名物教授 體操の教授二階堂女史……民子
□支那の正月……臼井龜雄
□禁酒物語
□臺灣の震災……富島祥子
□紀元節を壽ぐ花……安達潮花
□織物研究 銘仙の見分け方……須田豐作
□建築に適はしい裝飾……黒田鵞心
□豚肉料理……和田むめお
□子供の智慧「方便馬鹿」……花蝶
□小說「力」……木內錠子
□短歌「邪宗」……安中花子
□時事…公娼廢止運動觀…編輯室

定價一部四錢五厘　郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高村光太郎氏著

ロダンの言葉

（最高最大なる藝術と偉大なる人間思想の結晶）

藝術界の巨人ロダンによつて語られたこれ等の言葉はすべて偉大なる人間性の根本から湧き出した藝術と思想の結晶である。眞に人生に就て物を考へる人はまづ何よりもこの力強い思想に接して深い愛と熱情を吸收せねばならぬ。本書はロダン自身の筆になつたものとロダンによつて語られ、クラデル、モークレール、ロートンによつて錄されたる多くの筆錄とよりなり日本藝術界の權威たる高村氏が一字一句動悸をうつ樣な心の肅敬を以て譯出せられたものである。本書を讀まぬ人は人生に於ける最も大なる幸福の一つを得損つてゐると云つてもいゝ。挿入の寫眞版は未だ世に紹介されぬ多くの傑作を收めてある。

四六版布製箱入
寫眞版二十五葉
定價壹　五拾錢
送料八錢

東京市神田區中猿樂町九番地
阿蘭陀書房

和洋 裁縫講習錄

共立女子職業學校教師數氏及大家博士文部省檢定委員執筆

卒業一ケ年
月謝僅に卅五錢
三ケ月一圓・一年三圓六十錢
（美本毎號百六十頁）

自宅獨習 生徒募集

□和服裁縫科
□小物及細工物科
□洋服裁縫科
□袋物科

■國民道德■教育學
■裁縫教授法■洗濯色染
▲檢定試驗問題解▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で敎へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。
■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄敎授す。
■完結の後は各科別に綴れば、それ〴〵立派な大部な書物となり、常に机上にありて敎導す。
■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。
女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を頼りに勉强し、敎科書無しに地理や歷史を習ふ樣な不便がなくなる。

內容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。
先づ規則を見よ

東京神田今川小路
日本裁縫教育會
電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女生徒の常識

「犬養木堂」の解釋

口埼玉女子師範生の答案

去月廿九日埼玉縣の女子師範學校で、某教諭が生徒の常識如何を試みやうとして、黒板へ「犬養木堂」と大書して、之に就いて知る所を述ぶべしと答案を求めた所が、生徒三十四名中「存じません」三名「わかりません」「どうしてもわかりませんしらべて見ます」「不能」など丶答へたのが十四五名「出來ません」が一名で、答案を認めた者の中にも、左の如き奇拔な答へがあつたさうです。

▲犬養木堂とはつまらない物を養つたつまり養つたものが役に立たない事なり。

▲犬養木堂とは動物を愛護する事なり

▲判りません字の形から見て國家重要の位置に詰らぬ人間の居る時の話の樣に思はれます。

▲これは八犬傳の内の一人の名である。

▲つまらない情でもいひませう。

▲忠實な僕をやとふ事。

▲犬を堂中に養ふといふ事わかりません。

▲犬養木堂、富のみならずむしろ貧でありながらその身分に不相應の事をする事。

また稍正解に近き答案、並に正解の答案は左の如きものであつたとの事です。

▲犬養木堂とは政友會の議員なり
議員の有名なる人にて、東京に於てよく政府の事や議會の事に關して色々と議論を立てる人なり。

▲木堂とは現在の逐鹿界に於る所の一人なり。

▲犬養木堂は現代の政治家何黨なるかしらず曾て衆議院議長たりし事あり木堂は其號なり。

▲犬養木堂とは國民黨の總務なり。

口この非常識を如何

之れを見てもし今日の女學生に接近しない人は、果して眞實かどうかを疑ふかも知れませんが、東都の女學生と云はず、一般婦人に、かやうな問題を出しても、恐らく五十歩百歩の答案を得るでありませう。地方のしかも學窓にある生徒、のみならず日々の日課に汲々として居る女子師範生が、かく常識が貧弱である事は、不思議はない事であります。之れを以て直ちに女學生の非常識を攻擊するよりも、寧ろ今日の女子教育制度、並に社會の責めを問ひ度いと思ひます。

口痲痺した智識

地方の女子師範等は如何でありませうか、東都の女學校寄宿舍には、代表的の二三の新聞を入れて居ります。然し元來社會の出來事に目を閉ぢて來た女子の常として、これを手にしても、ほんの輕い記事に目を止むる斗りであります。學校では所によつて、三面記事を讀むのを禁じたり、小說を讀むなと命令する事はあつても、如何にして新聞を讀み、これによつて政治上、社會上の出來事を知り、世界の大勢を見る事が出來やうかと云ふ指導は少しも與へて居りません。一字をも知らぬ者はいろはから敎へなければなりませぬ新聞の讀み方位と申しますが、既に本能的にさへ女子が能力を持つ育兒や料理裁縫の事すら、多大の時間を費して學ばせる以上は、今日迄全く「見るな、聞くな」と故意にも痲痺らして終つた政治上、社會上の智識――人の生存に大切なる其の智識を啓發する事無しには、完き敎育を授けたとは申されませぬ。今日の女子は家庭以外の廣い社會に對する興味さへも、眞に薄いのでありますから、敎師は先づ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

興味から誘ひ出す工夫がありたいものだと思はれます。

□女教員劣等問題

かやうな女子師範生が二年三年の後、社會に出て、教壇に起つとすれば、早速多くの世の愛兒達を預つて、之れを教育して行かなければなりません。女教員劣等問題が、父兄の口から叫ばれるのも、餘儀ない事ではありますが、源を改めないで、いかに、現在を攻擊したとても、益々、女を卑屈にするのみで、無益であります。女子の小學教育、中等教育が、所謂良妻賢母主義に傾かず、も少し根柢あるものとならなければならぬとは、常に感じて居る事であります。

□女學校長懇話會に望む

今回女子高等師範學校長中川謙次郎氏の主催によつて、婦人問題の研究盛んに起れる今日、女子教育に於ても一進境を開かなければならぬとの意見により高等女學校長の懇話會が開かれるさうであります、誠に結構な事で、女子教育の本源地たる之れ等の學校に、世の進運に伴ふ何等かの新らしき方針加はれば忽ちにして、全國の女子教育は一大進歩を見るでありませう。而して女子教育が益々人間としての教育に改まるやう努力せられたき事は、只管の願ひであります。

□讀書と積極的態度

然し教育に須ち、學校、教師に依頼する迄もなく、女子自身は、其の見解を廣め、確實な智識を、教室以外のものにも養ふ事を、大に務めなければなりませぬ。今日は新聞は自由に手に入り、且つ婦人も喜んでこれを手にする事が出來るやうに、何れの新聞も其の編輯振りに心を用ふるやうになりました。その上雜誌類も實に多過ぎる位、發刊されて居ります。「古暦さへも讀むは讀まぬに勝る」と云ふのですから、これ等の讀み物を心して見る時は、必ず何等かの智識を得るに違ひありませぬ。勿論濫讀は時間能力の浪費でありますから、謹しむべきではありますが、讀書の制裁に過ぎて、書物を恐れて手にせぬ傾向ある女學生にとつては、寧ろ積極的に自由に讀んで、自ら其の撰擇を學べと申したいのであります。（三四子）

時事週評

□米獨遂に國交斷絶　別項時事欄に記載せる如く、獨逸が潜航艇宣言をなせる不遜、狂暴の態度を憤り、米國亦蹶起して、獨逸を敵とするに至りました。曩きに羅馬尼亞の新勢力を、一擊の下に蹈みにじつた獨逸も、今回の侮るべからざる新手を迎へて、果して如何でありませうか。本號以下連載する佐伯主計中監の「列强と戰時の經濟」は、獨逸の實力を知り、戰局を見るに有力なる講話であつて、之れによつて聯合軍側の用意を學ぶ事が出來やうと思はれます。

□新設さるゝ子供公園　東京市が四月から新設に着手するといふ淺草橋際の子供公園は、遊戲の場所に事缺ける市中の子供にとつて、眞に有難いことであります。從來の小公園が、青年や小僧に闖入せられて、幼い子供等は遊ぶ所ではなく、却つて惡戲を覺えて來る事が多かつたのに鑑みて、ここ迄も子供本位に設備し、保管して、模範の子供公園が設けられたら、これに見倣つて、公共事業としても、續々これ等の設備を見るやうになりませう。

二

□三輪田高女の圖書館　四月落成するに新築の一部に設けらるゝ同校の圖書館には、宗教、美術、哲學、文學等の書籍及び新聞雜誌等を廣く備へ付けて、女生徒の自由閲覽を許すさうであります。この積極的方法は從來一般の禁制主義より、必ず有効な結果を齎らすでありませうが同校が先んじてこの設備を試みた事は多とすべき所であります。多くの女學校に在る圖書室は、大抵教師專用のやうでありますが、も少しの設備を加へて、生徒の爲めに、續々公開せんことを望みます。

□外人の東京婦人倶樂部　在留外國婦人の組織する東京婦人倶樂部に於て、過る廿五日都下の十數名の婦人を招いて、我が婦人界に於ての事業を學び度いと、極めて自由な靜かな會合を開いたにも拘らず、某新紙の如きは、國際的婦人大會等と大袈裟に掲載された事は、當事者の迷惑であつたらうと思はれます。この會がやがて國際的婦人大會を結ぶ迄に發達する事は望みますが、實際を見た記者は、それはまだ遙かな事でせうと、しみ〴〵思はれるのでした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

列强と戰時の經濟（上）

獨逸なほ萎まずや

海軍主計中監 佐伯敬一郎

佐伯氏は夙きに陸海軍省より特派せられて、列强の國防と財力關係に就き、前後三十年に亘つて、英佛米瑞西等に駐在せられ、過る十二月歸朝せられた方でございます。

□意外に永延く戰亂

過去二年半の歐洲戰亂の結果、世界の形勢はどんなになつて居るか、延ひて日本に及ぼす影響如何とは、何人も考へる所であります。開戰當時の世界各國は、汽車船舶により電信、電話、無線電話等の交通機關によつて、一家の如く密接な關係を有して居り、米國に饑饉があれば、日本の綿は忽ち上騰し、歐洲の食品も騰貴するといふ有樣でありました。かゝる世界にあつて一朝列强間に事があつて、戰ひが始まつても、決して一年二年と永續するものではあるまいといふのが一般の考ふる所でありました。それ故獨逸と聯合軍との開戰當時、歐洲の經濟學者等は、何れも符節を合して、永くも一ヶ年を經過したならば、この戰亂は終局を告ぐるであらうと云はれたが、事實は之れに裏切つて、二ヶ年半の今日に至つても、なほ平和の日は何れに在るかを疑はしむる有樣であります。

□經濟學者等の持つた疑

獨逸と開戰以來、一家の如き各國は、之れを纒接する系が寸斷されて、世界は古への鎖國の狀態に歸りました。元來戰爭と云へば、人間と品物換言すれば軍隊と兵器、軍需品を要するのであります。之れが我が維新以前の如き時代で、海外と貿易が行はれなかつた昔ならいさ知らず、今日の如き國狀にあつて果して一旦國交斷絶して、孤立の有樣となつた時、よく數ヶ月を支へ得るであらうかとは、何人も疑を持つ所でありますが、殊に英佛の經濟學者等は、開戰當時口を揃へて「獨逸はいかに勇敢なる軍隊を持つとも、數ヶ月を出ずして、食糧が缺乏するであらう。たとへ食糧としては、草を食んで間に合せても、綿、護謨、羊毛の輸入杜絶して、兵器彈藥を製造する能はずして、戰鬪力を失するであらう」と云はれましたが、今日に於て之れを見れば、當らざる觀察であります。

□食糧缺乏の推測

開戰當時人々は獨逸に就いて、かやうな疑問を持つたのであります。元來獨逸の地味は瘠せて居るが、平生は英國に比して、同面積から五割も餘計に收穫があつた。之れは人造肥料を用ひて居つた結果でありますが、開戰と同時に輸入が杜絶したら、其の瘠せた地をどうするであらうかと。また一方に於ては、國民の生理上必要なる蛋白質は、獨逸全體で五百三十萬キロを要したのであるが、戰爭と共に肉食を減じ、小麥は裸麥とするといふ有樣が、久しきに及べば、國民の精力は保ち得るであらうかと。

□現狀は斯くの如し

之れに就ては次のやうな現狀であります。獨逸國民の食糧の

三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

主要をなす馬鈴薯は、開戰以前五千數百萬噸を產して居りました。開戰當時、窒素の輸入杜絶すれば、肥料缺乏して、到底この收穫を見る事は出來なからうと云ふのでありましたが、化學工業の盛んな國とて、遂に空氣中から窒素を取り初め、今日は優に輸入の窒素に代へる事が出來ると見え、馬鈴薯は平年の作を保つて居ります。

次に食料の變更は、菜食の東洋人から見れば何でもない事であるが、歐洲各國としてはさもあるべき疑念であります。然し近年歐洲人も、肉食過多を稱へて、菜食を奬勵し、既に瑞西邊には、野菜專門の料理屋が出來た程であります。それ故肉食が缺乏したからとて、國民の精力の消耗する憂ひはありません。最後に豐凶によつて食糧が缺乏しはせぬかといふ事は、致命傷であつて、昨年の如き凶作が、今年も續けば、獨逸の食糧品の缺乏は眞に危いのであります。

□兵器の材料は如何

次に獨逸の兵器の材料としての綿や銅は、輸入杜絶した今日どうして居るであらうかと疑は

四

れるでせう。獨逸は開戰前年々二十五萬噸の銅を要して居り、内五萬噸は國内に產し、輸入は二十萬噸でありましたが、十萬噸は加工して再び國外に輸出して居りました。それ故餘の十五萬噸は、電線、電話の線、眞鍮等に形を變へて國内に存在して居るのであります。過去二十年間平和が續いた彼の國に在つては、少くとも三百噸乃至四百噸の銅は、國民の財產の一部となつて存在して居るので、輸入の杜絶したる今日は、眞鍮や赤銅等を取り、之れを溶解して、兵器の原料とするといふ有樣で、意外の處に其の原料を見出して居るのであります。英佛の經濟學者も、初めは一ケ年維持するも六ケ敷いと云つた者が、今日に在つては、この溶解作用によりて少くとも五六ケ年は充分に支へ得ると云つて居ります。

(一人一評)

仲小路やゑ子

△誰であつたか『フム、仲小路の妻君か、あれは君、女中上りだヨ』と、如何にも嘲笑的に物語りしことがある。何故に女中であつたものが大臣の令夫人となりしを冷評するろ？　成程、現内閣の閣將と云はれてをる農商務大臣仲小路廉閣下の令夫人やゑ子の君は、曾つて下女をしてをつたこともあるさうである。併し吾等は此の爲に仲小路夫人やゑ子の人格を汚す何物も無いものであることを考へてをる。

△かの世間の皮肉らしい噂に面白いコントラストと思はれるのは、仲小路君が烈しい希望の酬いられて、現内閣に農相の一椅子を贏えた時に、その入閣を祝すべく訪問した某に、如何にも得意らしく庭園を指して『田園生活のやうなものぢや、家内と土いぢりもやる——夕食後は家族一同で此の樹木や草花の中を逍遙するのは眞に愉快なものだよ』と語つたと云ふ。その團欒の程は健羨に堪へぬ。が、仲小路君も亦妻ノロジーとして、後藤男に劣る者でないことが吾等には嬉しい、やゑ子夫人の滿足はどんなであらう？

△仲小路君が現内閣に、何程の權威をなしてをるかは知らぬ。が、三十餘年前には、僅かに一地方裁判所に裁判書記の微職を奉じてゐたものが累進して檢事となり、遞信次官となり、農商務大臣たること二回——と云へば、確かに稀有の成功にして、我が貴重の立身傳の異彩である。この成功者たる仲小路君の令夫人やゑ子が良人の未だ世間に令名の十二分に布かれなかつた時代から忠實のワイフとなり、立身出身した良人をして、かく迄も妻ノロジーたらしむるのは、これも亦得難い賢婦と云はればなるまい。吾等は思ふ——下女たりしも亦可なり、唯だ境遇に應じて、最も彈力ある女は尊敬に値するものであると。こゝに於いてやゑ子夫人は十二分に世間から敬意を拂はるべき女性である。（綾村生）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育ある主婦へ（下ノ二）

子女の教養に就て

高島平三郎

□虚榮の犠牲

女は虚榮の權化であるといはれる程で、學校生活をして居る頃は之が爲めに學友相互の競爭心が烈しい。併し主婦となり母となつてからは、良人なり家なり特に子供なりを、自己の友人のそれ等と比較して、自己の方の優良ならんが爲めに、非常に苦心する。我が子をして學校に於ても級中第一の成績を收めしめんとするのは、自己の虚榮心の滿足の爲めなることが多い。

眞に子供の前途を考へたなら眼前の小利害や、小榮辱の爲めに彼等を壓迫して、心身の發育を害せしめるのは、實に忍びぬ事では無いか。全體子供は學校で随分究屈な目に逢ひ、随分精神を緊張して數時間辛抱して歸つて來るのであるから、せめて家に歸つたら、彼等を籠から放たれた鳥の如くに自由にしてやり、愛し勞はつてやらねばならぬ。併しそれは固より一切放任して叱りも諭しもせぬといふのでは無い。嚴にす可き時には嚴にもせねばならず、罰す可き時には随分嚴しい罰も課せねばならぬ。唯家庭は愛の空氣が漂うて居らねばならぬ。自由の呼吸が出來ねばならぬ。然るに歸るや否や直ちに復習に練習に、或は課外の稽古に子供を責める實母？が少く無い。こんな教育を受けた子供で延んびりと充分の發育を遂げるのは甚だ難い。

□放任主義

又之に反して子供は放任に限るといふ主人の生半可なる教育論に賛同して、立派な教育ある主婦にして、子供を投げやりに育て、彼等が少年靑年になりし時、全く無頼の仕方無き者となり了らせる者もある。教育はあつても兒童學や、兒童心理學や、教育學などの科學的智識無き爲めに、子供の取り扱ひに限つて無學文盲の野人と少しも變らぬ事を平氣で、而かも得意に行うて居る者がある。如何なる善行ありとも、子供を持つてその教育を誤つた親ほど非難す可き者は無い。

母としていくら貞操が立派でも、料理や裁縫が上手でも、器量が好くとも、動作が優かであるとも、子供の教養法を知らずして、彼等をして生涯を誤らしむる者は、啻に一家を害する人たるのみならず、國家の罪人であり、人類の敵である。盜賊は一人一家を害するに止まる。されど子供を教養する智識無き母は、空間的にも時間的にもどれ程の禍害を社會に及ぼすか分らぬ。固よりこれは父とても同樣の責任がある。然れども子供の教養には母が直接に關係するのが當然である故、その責任は一層重い。

□婦人の榮光

女は弱い、併し母は強いと古人はいうたが、啻に強いばかりでは無い。母は貴い。母は神聖である。此の世では母の愛のみ純潔で、絶對である。さらば又何物か母の愛に對する子の愛ほど神秘的のものがあらうか、父に對する子の愛は理性的であるが、母に對するのは本能的である。随つて根本的であつて、打算的で無い。

五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女は母たる事に由つて自己の希望も理想も實現する事が出來る。自己は何等の名譽を得ずとも、子供が國と人とに盡すことに由りて得る名譽は、そのまゝ母の榮光である。自ら名譽の衝に當らず、自らを犧牲にして子供を之に當らしめる。母の愛ほど麗はしきものがあらうか。而してこの榮光に値するものは、實に女にのみ與へられた特權である。固より多くの親子の際には、父と母との子に對する關係の倒錯して居る者もある。併しそれは特殊の場合であつて、一般には母のみよく子供の生の根底から己に引つけ得るのである。

教育ある主婦にしてこの自己の活く可き眞の道を疎にして、たゞ眼前の物質虚榮に憧れる者の少く無いのは、何たる氣の毒の事であらう。男子が眞に婦人の前に頭を低れて衷心の敬意を表し得るのは、婦人の如何なる事業よりも、善行よりも、善良なる子供を立派に教養し了うせた時である。而してこれをなすには、事業も善行も皆役に立つ。否立たせねばあらぬ。

一般には婦人は或る事業をしたのみでは物足らぬ。更に進んで善良なる子供の教養を全うせねばならぬ。之と同様に唯性行が善良であるといふのみでは物足らぬ。之に由つて善良なる子供を教養せねばならぬ。固より婦人と雖も特殊の場合には、獨身生活をなす可く、又結婚するも母たる事能はざるものもあらう。是等の人に母たる事を責めるのは理由なきことである。併し一般には婦人は母として眞に榮光ある人となるのである。

されば余は教育ある主婦にして母たる人に特に勸告する。是等の人々は何事を措いても子供に關する科學的確實なる智識を收得することに努め、自己の無智の爲めに子供の心身を害し、將來取り返へしのつかぬ如き過誤を生ずる無からんことを。

よきにつけ惡しきにつけて
世の中に戀しきものは
母にぞありける

これは余の拙詠である。余は世界の婦人のすべてを低劣なる人類と見ねばならぬ場合にも、余が母のみは同様に見る事は出來ぬ。余今齡知命を過ぎ、八年前に七十三歳にして逝ける母を、今日に於ても事に臨み、折に觸れて回想し、涕泗の流るゝを禁ぜざる事が多い。今筆端ゆくりなくもこゝに及び、母を慕ふの情潮の如く來り、また語を進むることが出來ぬ。擱筆。

新舊衝突物語（一）
日本髷と西洋髷

母親は從來の日本髷をかたくなに主張してやみません、娘も實は日本髷の美的で、女にふさはしい事も、又自分によく似合ふ事も知つてゐますが、閾を一歩跨いで外へ出ますと、日本髷ではどうしても承知が出來ません。其理由はと申しますと、母親や祖母の主張に任せて、日本髷に結ひ、遲毛一本も見えぬ櫛目立つた美しさで登校しますと、何百人といふ他の生徒は皆、揃ひも揃つて西洋髷ではありませんか。みな珍らしさうに娘をとりまいてなにやかやと口々に言ひ囃します。娘はもうたまりません、顏から火の出るやうな思ひを抱いて、學校から歸るなり、日本髷を解いてしまはなくては耐へきれません。ところが母親はこれを見て、あやしくも眼を瞬やかせます。これも新舊衝突の一例。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名物教授（四）

體操室の

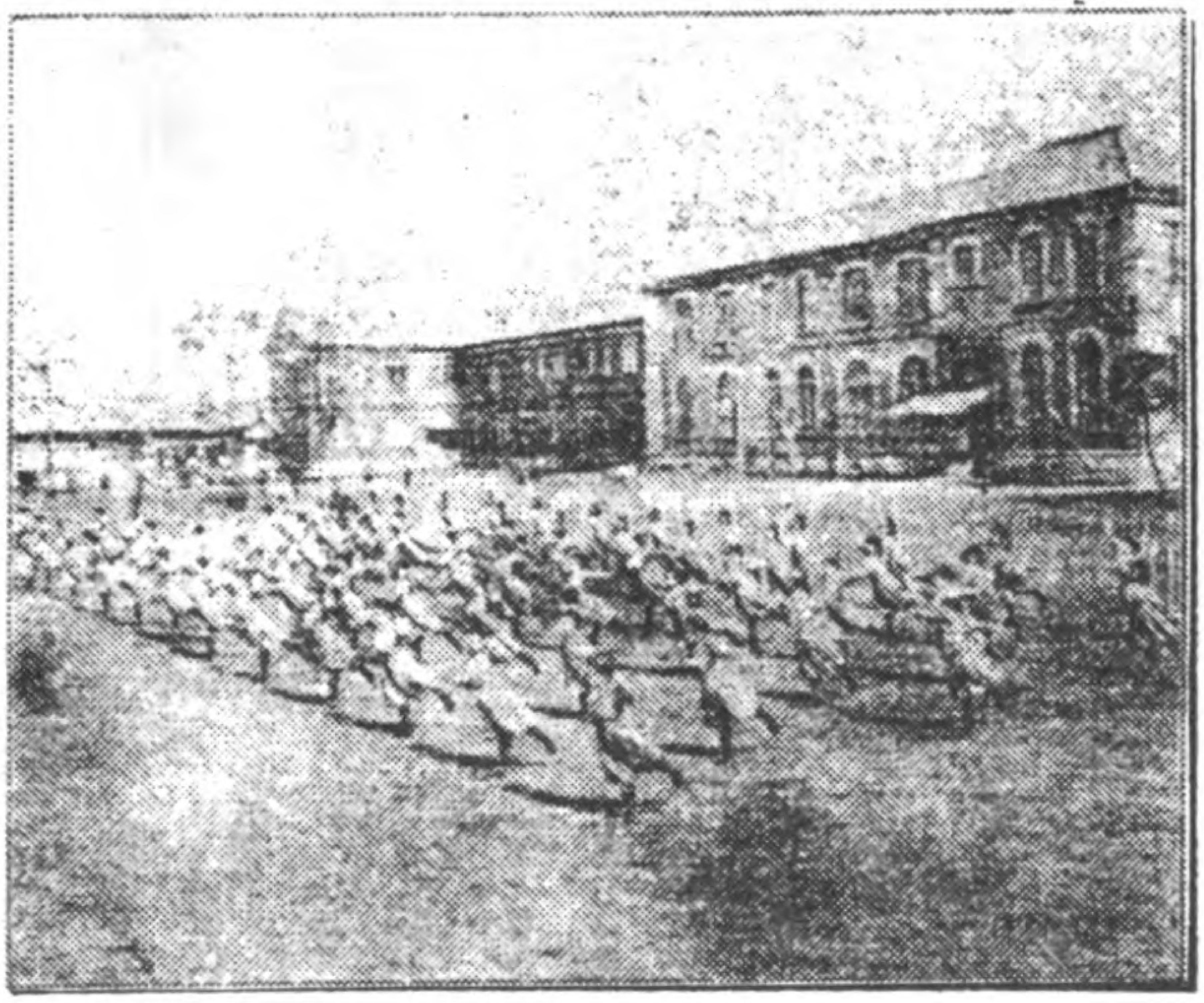
二階堂とく女史

▲ポカ〳〵と春らしい氣の漲りあふれた暖かな日、私はお茶の水の東京女子高等師範學校で二階堂とく女史の體操の時間を見る、もう敎生達が地方へ散らばつていく日の卒業期が近いので、その未來の先生達の敎へぶりを檢閱してゐられた。私が見たのは附屬の何年生だか、まだお下げに結つた子の多い級で、敎生は擧動の活潑な、若い無邪氣さうな人であつた。

『上體を前にかゞめ、手を左右にのべえ！のべ！のべ！』などゝ、はち切れさうに元氣な透きとほつた聲で號令をかけるのを、女史はにこ〳〵して隅の方で聞いてゐられた。

▲體操の先生！夫れは一寸私の耳には、甚く小供らしい所のある、無邪氣で、快活で、そして少し駄々つ子のやうな響きがする。この感じが直ちに女史の性格に的中する所があるかどうかそんな事は分らないけれど、微笑しながら體操場の中を濶歩してゐられるお姿を見ると、正何位だとか、從何位だとかと言ふ堅苦しい肩書きをとつて、身も心も思ひの儘に飛びはねさせて上げたいやうな氣がされた。女史は燕尾服に似た形をした裾の短かい花色の洋服を召して、又キツとスカートの下から太つた兩足を窺かせてゐられる。何かの西洋劇に役者が着て出さうな輕やかな洋服である。

敎生のするのを無言つて見てゐられるけれど體全體が緊張し切て、眼も口も號令をかける以上に働いてゐた。



▲寫眞說明　女子高等師範校庭に瑞典式體操を行へる處左手に見ゆる低き建物が室內體操です。

▲女史は同校の文科出身の才媛である。よく新派の和歌にその若い、水々しい燃えるやうな熱情を歌はれてゐた。體操の研究に久しく英國に遊んで歸へられてからは、唯徒らに先生として義務的にでなく、體操そのものを人間がこの世に生存上どう應用されるかと言ふやうなことも敎へてゐられる。昨年の暮、冷たい風の吹く窓の外からそつと體操場を窺いてゐたら、

『あなた方は決して體操は體を丈夫にするばかりのものと思つてはいけません。或るものは人間に敏捷な動作を自由にし得るやうに敎えます。あるものは、人間の生活に秩序を立てるやうに敎えます。……』などゝ慥かに說明してゐられたのが聞えた。お聲は淸く澄んだ朗らな響きを傳へる美音である。お年は三十八九、英國の一人旅に、お母樣からお貰ひなすつたお守袋を懷いて泣かれたほど小供らしい所がある。（民子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支那の正月（承前）

満洲日々新聞記者　臼井龜雄

□脂粉に装ふ娘女達

賀客は閉された扉を叩いて、薄暗い中へ這り、黄酒を傾け、豚の丸煮の御馳走などをつゝいて談笑しては去る。平常淺黄木綿の服を着る彼等の多くが、紋緞子の褞袍か何かで意氣揚々と廣くもない道を織るが如く歩いてゐる。娘子などは顔に脂粉を塗つて、赤い花かんざしを髪一杯に列べ立て、小さい足でヨチ〳〵と雜閙の中を分けて歩く。然し何時に變らぬ韮の匂ひは街を流れてゐる。

□三ケ日は戸を鎖す

『いくら中華民國になつても新正月で祝ふのは政府ばかりで、人民はこの通りですから駄目ですよ。』と范君は流暢な日本語で語り乍ら、小調子で最も賑はつてゐる天后宮へと私を連れてゆく。北京邊は大分太陽暦で新年を祝ふさうだが、官廳までが舊正月に三日間休む位で、矢張一般に陰暦正月に執着してゐる。商店などの大きなのになると、十五日位まで遊ぶさうで、中以下でも三ケ日は戸を鎖し嚴格に休むから、支那人關係の日本銀行會社でも、大抵二三日休業する。支那は大國だけに何處までも暢氣だ。

□お宮詣での人の波

天后宮は一寸小高い丘の上にある。其處への道には往き來の參詣人が、黒く流れてゐる。其の流れに投じて押されるやうに朱塗りの門を入ると、堂前で盛んに爆竹をやつてゐる。すぐ耳のそばで破裂する音に、びつくりさせられ乍ら堂の中に入ると『これは子供の出來る神樣です』と范君が説明する。日本の鬼子母神だなと思つて見ると、正面奥に眼をつぶつた女神像が安置してあつて、左側には天神髯を生やした好々爺が鐘を鳴してゐる。像の前には參詣人が小布團の上に跪坐して叩頭再拜してゐる。平土間へ頭をすりつけてゐる小孩も見えた。日支親善の爲め一錢を賽錢箱に放り込んで、堂を出ると此外にまだ二三の神樣があると云ふので范君の後に隨ふ。海の神に何の神とか云ふ天后宮の同居神も却々賑やかである。參詣人の出入に際し、乞食の要撃する者あるは日本と變らぬ。

□浮かれ歩く銅羅の音

煙火と鐘に辟易した私は、范君を促して境内を出た。唐辛風の吹き荒ぶ中を相變らず人の往來繁く、其中には十數人の若者が一團となつて、銅羅を鳴らし笛を吹き、支那人獨特の亡國調で歌ひながら練つて來るのもある。

八

范君にあれは何かと訊ねたら、一寸説明に困るが、マア悦びを表はす爲めに浮かれて歩くんですなと云つた。意味は違へど、形だけは日蓮信者の一隊が太鼓を叩いて歩くのと似てゐる。

かうして、兎も角も支那正月の空氣に觸れた私は、范君が支那人間に傳道してゐる金剛教布教所の入口で、同君に案内の勞を謝して別れた。書き落したが、朱春山は大の日本贔負で、彼の應接間には我が兩陛下の御眞影が掲げられ、乃木將軍の寫眞や梅ケ谷の小像などのあるのを見た。（一月廿四日記）

子供の智慧

□御婚禮はお葬ひ

次郎さん（七才）は何處から耳に挾んで來たのか、一郎さん（八才）に向ひ「兄さん「御婚禮て何んだらうね」と尋ねますと、兄さんは「御婚禮てお葬ひにきまつて居らあ」と眞面目に申しました。

＊＊投書を歡迎します＊＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禁酒物語

初め牡丹餅を代用した
小久保前代議士の苦心

一

「唯だ一滴の酒さへも、決して現在の私は口にせぬ――と申しまするならば、必ず『酒を貴下が……？』と私の飲酒せぬことを少くとも私を知つてをられる人々は不思議の随一に算へることでせう」と、前衆議院議員小久保喜七氏は、蒲田の閑居に語り續けられるのであつた。併し今日の氏は、家庭に於いて酒類を用ひぬのみでなく、各地を旅行中にも、唯だ一滴の酒さへも口にせぬのです。

　氏は禁酒して、既に十八年になると申します。卅五歳迄の氏は、随分と酒を痛飲し、斗酒も猶ほ辭せぬと云ふ亂暴なもので三日三夜を徹して、飲明したこともある位に、萬一にも氏の郷里で氏の過去を話すものがあれば、『のんだくれの小久保、亂暴者の小久保』と申すに相違ないとの事です。それ故に郷里に氏が遊説して、舊友や知人達に面晤すれば、その人々は『ヤア久振りだ痛快にやらう』と誘はれるが常ですが、氏が絶對に酒を使用せぬと聞いて、非常に驚くとの事です。氏は十八年の間を一滴の酒も絶對に口にせずに今日に至つたとは、聞くも珍らしい事ではありませぬか。

二

　氏が飲酒を始めたのは年少い十八歳の頃であつた。それから卅五歳になる迄には、亂暴狼藉至らざるなしといふ有様であつた。氏が明治廿八年に茨城縣會の副議長に當選した頃には、その職務に忙しい時間を割いて、盛んに酒宴に列し、醜い粹態を演じてをつたものださうです。

　只今も氏は肉體の健康と云ふ一點に就いては、誰よりも優者であることを信じてをられる。が、この頑健を誇る肉體は、勿論、連日連夜の豪酒に堪へることが出來なかつたと云ふのではなかつたが、何時とは無しに氏は自分の責任と云ふことを深く考へるやうになり、又氏に親切な政子夫人の不言不語の中に於ける心配をも察して、竊かに「大に決心せねばならぬ…」と考へるやうになつたさうです。

　殊に其の頃の氏が反省した重なる原因の一には『かう云ふやうに酒びたりになつてをつては第一に自分を築く讀書が出來ない』と考へついたことでした。その上に激烈な家計上の壓迫も亦氏を深く覺醒せしむる動機となつたのでした。

三

かう云ふやうに氏が決心しましたのは、卅三歳の頃であつた。先づ大抵の人がやるやうに氏も郷里や東京の新聞社に『爾今絶對に禁酒致し候』と麗々しく廣告を出したといふ。然し其の宣言が何の効力があらう筈がないその日から又飲むと云ふやうなことで、自分ながら腑甲斐なく考へながらも、多年の惰力性から蟬脱することが出來なかつたのを嘆いて居られました。

　その中に發奮して氏は酒飲みに禁物の甘い物を强制的に用ふるやうになり、朝夕に酒を欲しいと考へる時には、代用品の甘い物――牡丹餅を飽食することにされたさうです。酒の代用に牡丹餅を飽食すると申せば、誰も贅澤のやうに考へるでせう。が、決して酒飲みに牡丹餅は嬉しいものでなく、非常に苦痛であり、無理に食へば、直ちに嘔吐を催する、その心地の惡いことは、到底お話にならなかつたが、氏が苦痛と戰つて酒類の代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

用に牡丹餅を食ふたのが、一年半も續き、而して漸く禁酒することが出來たのでありました。この禁酒を氏が實行することが出來るやうになつて、こゝに十八年、「過去の酒を使用した亂暴な日を丁度夢のやうに眺めてをります」とうらゝかな日影を浴びながら、微笑を湛へつゝ物語られる其の人は、眞に健やかな生を樂しむ幸福の人でありました。

◆口◆

職務の犠牲になつた妻女

一月十七日 伊勢街道筋の西之宮領内に住む勢枝元吉の妻トメ(四二)が、夫が町へ用達に出た後さを、三つになる幼兒を背負つて、踏切番をして居りますさ、折柄畝傍驛から奈良を指して來蒐る列車の前に、四つ斗りの幼兒が蒐け込み、ベッタリさ仆れました。妻女は我が身を忘れて線路に飛び込み助け起さうさする瞬間、列車は急停車を試みましたが、其惰力は、遂に三人に觸れて愛兒諸共重傷を負ひ、手厚き醫師の介抱も甲斐なく共に傷ついた幼き子等を殘して、其の妻女は翌日他界致しました。

教育もない田舍の婦人も、夫の職を思ひ、他人の子供を思ふて、かやうな勇敢な死を遂げた事は、眞に輕薄な世の人の戒めさ致したいことでございます。

(奈良の一讀者から)

讀者から

臺灣の震災

事ありてひとしほ皇國の惠みを思ふ

在南投縣 富島祥子

まだ松の内の一月五日の眞夜中、突如激動を感じて、夢を破られ、「あれ地震よ」と思ふ間もなく、いよ〳〵震動加はり、凄まじき地響きをさへ感じたのでこは一大事と、急ぎ一家擧つて戸外に避難いたしました。引續いて强弱の餘震頻々として襲ひ來り、一刻にして數回、一時間にして、數十回といふ有樣、寢衣のまゝ戸外に飛び出したる人々は、何れも恐怖の度を增て、一人として屋内に歸つて安んずる者はありませんでした。

口震源地は南投郡埔里社支廳下蓮華池附近であつて、全島震動を感じましたが殊に烈しかつた區域は極めて狹く、短徑約三里、長徑約五里の楕圓形をなし、十三方里の面積に過ぎませんでした。然し五日午前零時五十分の激動は、十數秒に亘つたので、構造の脆弱な土人の家屋は、瞬時にして、瓦落ち、床崩れて、多數の即死者や、重輕傷者を出しました。其の日終日不安な心を抱いて、街路をさ迷ふた人々は、道傍の空地に蓆を敷いて、徹宵晩に及びましたが、餘震は尚頻りに襲來して止みませぬ。遂に竹や戸板、寧ろ藁等で、僅かに雨露を凌ぐに足る名ばかりの假小屋を急拵らへして一時の避難所さして、安靜になるのを待ちました。然しなほ多數は軒下や樹下に佇んで、雨露に曝らす儘さなり、餘震の少し大きなものが來る毎に、恐れて泣きわめくなど、目も當てられぬ有樣でした。

口かくて六日に至るも、依然この狀態が續いたので、絶望の聲を洩らして、嘆く者もあれば、骨肉血縁を失ひ、或は傷けられて泣き悲しむ者あり、老幼相擁して路頭に彷徨ふさまは、眞に阿鼻叫喚の境とでも申しませうか。埔里支廳では至らざるなき救護に着手して、地方の民心を安んずるに力を致しましたのは、有難い極みでした。

口七日午前二時十分再度の烈震があつたので、土人の家屋は殆ど全部倒壞するに至りました。其の後も餘震は頻繁であり、之れと前後して天候險惡となり、降雨と共に寒氣凛烈を極めたので、罹災民等は荒凉たる災餘の路頭に迷つて、飢餓凍寒に堪へ難き有樣、眞に同情に餘りある事でした。

口かやうな有樣が數日續いて、漸く天候恢復し、餘震も次第に遠ざかりました。罹災地の秩序を回復し、死者の遺族を慰め、傷者の手當を施す等に、官民力を協せて着手し、一月廿日畏くも聖上の御慰問使によりて千二百圓を下賜せられたのを始めさして、十二日より義金募集を發表して以來、既に二千七百餘圓の金圓が集まりました。昔に聞く安政の大地震に劣らぬ災禍でありましたらうが、聖代の有難さはその不安を輕からしめ、見る間に秩序を恢復して、幸福な生活を樂しむ事が出來るやうになりつゝあるのは感謝の至りでございます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紀元節を壽く花
何が良いか
安達潮花

□其の花のいろ／＼

建國の佳節を祝ふ花卉は先づ松、梅、竹、寒牡丹、柳、温室や室咲のものでは牡丹カシワなどでせう。

根〆もしくはあしらひものとしては、ツツジ、ヤグルマサウ、福壽草、椿、菜の花、ハボタン、等は、聖代の八千代に祝ぐ花卉として、季節の花卉の中で最もよいもので御座います。

□最も良い配合

一
- 松 主型（半傾斜又は傾斜）
- ツツジ あしらひ（散出）
- 菜の花 根〆（半傾斜）

二
- 梅 主型（半傾斜又は傾斜）
- 寒牡丹 あしらひ（半傾斜）
- 福壽草 根〆（同）
- ツツジ 副型（散出）
- 矢車草 根〆（半傾斜）

三
- 柳 主型（半傾斜及下垂）
- 椿 あしらひ（半傾斜）
- ハボタン 根〆（同）

□温室花卉の配合

一
- カシワ 主型（半傾斜）
- 矢車草 根〆（半傾斜）
- エンダウ あしらひ又は副型（前傾もしくは下垂）

二
- 牡丹 主型（半傾斜）
- 百合(白) あしらひ（同）
- 春菊 根〆（同）

□崇高な氣分を現はせ

紀元節の花は形式に於ては、凛乎として整齊せられ、嚴粛であり、氣品高潔、崇重な趣があふれて居なければなりません。第一には花型、第二には色彩と配合、第三は花卉と花器に細心な注意を要しませう。

花型は半傾斜型類が適當で御座います。半傾斜型と申ますと餘り傾かない、垂直に近い形式で品の良い型で御座います。

配合は前に御話し致したやうなもので、俗に流れなければ、他の花卉が加はつて差支へありません。

□花器の選び方

第一に金屬、第二が陶磁器で御座います。金屬の内では古銅あたりがよろしく、水盤の内でも挿口の廣いものが調和致します。

燒ものでは支那燒の交趾、日本製では常滑、伊萬里、古備前などでせう。形は圓形、楕圓形がよろしく花器の色彩も落付の良い、黒色に近いもの、潔白な白色などがよろしう御座います。

銘仙の見分け方
織物の研究（二）

□いろ／＼の種類

銘仙には、一二年此の方瓦斯糸を混ぜた品が盛に織出される傾向が見えますが、本來は玉糸、節糸を用ひたものです。秩父銘仙と云ふのは即ち之です。伊勢崎銘仙は、もと節糸を用ひて居ましたが、現今は絹糸紡績を混て居ります。伊勢崎の赤耳（反物の耳に赤色の織られてあるもの）等は、横に瓦斯が入つて居るのです。新節、新銘仙などは、絹糸の代りに柞蠶糸と云つて、絹には違ひないが、野蠶の絹を紡績したものと、瓦斯とで織つてあります。織物の品質は大概其の産地でよしあしを見分る事が出來ます。

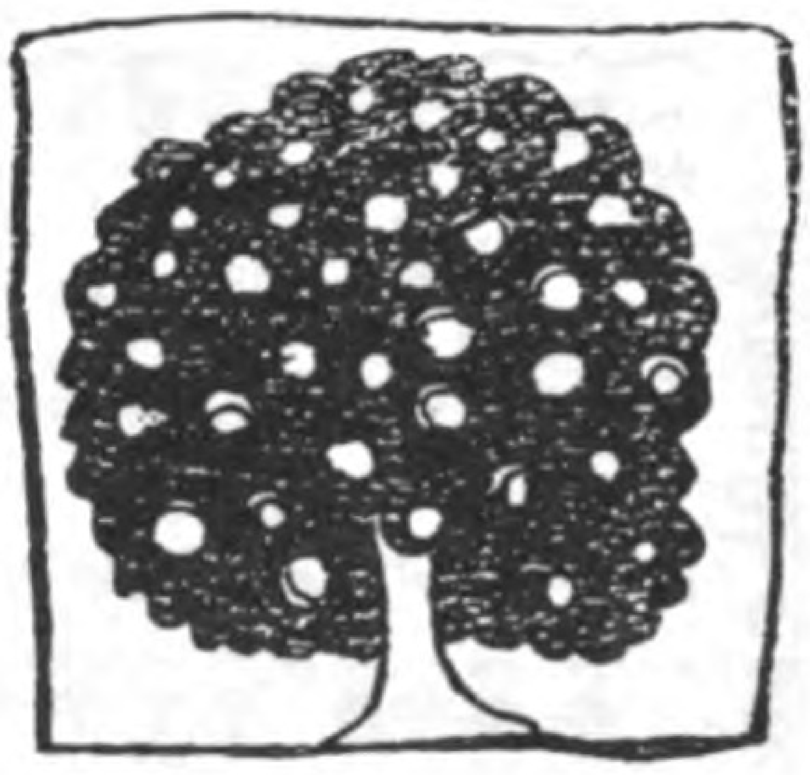
□瓦斯入り

これ等の糸を外見から區別すると、瓦斯入りのものは非常にけば立ち易く、又瓦斯は絹糸よりも太い爲めに、縦糸などに使つてあると、縞でも絣でも大變はつきりと見えます。足利や越後地方からは、此の種の品が澤山出て居ります。柞蠶糸の方は一寸見分け難いが、糸を解いて見ると、絹よりも纎維が細いから、直ぐ分ります。節糸や玉糸は節がありますから一見分りますが、纎維は細くて長く續いて居ります。秩父銘仙などに節の多いのも、之を用ふるからです。又燃して見ると柞蠶、絹紡、節、いづれも絹の方は灰がチリ／＼とかたまりますが、瓦斯はスーと燃えるだけで、灰が丸くなりません。

□絹紡と絹

唯絹紡と絹とは見分け難くて、又これを知る事は最も必要であります。糸の撚を戻して見た時に、縮れて糸が揃つて居るのは絹糸ですが、けばが立つて自然と纎維が抜けるのは絹紡です。以上の中節糸、玉糸で織つたものは、品質もよく、耐久力もよくて、最も經濟です。柞蠶に至つては一層悪い。絹紡は節は無いが稍劣ります。柞蠶に至つては一層悪い。殊に洗濯すると縮むので一般に好まれないやうです。概して銘仙は糊氣があるから、一旦これを抜いてから仕立てないと耐久力が悪いのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



建築に適はしい装飾

セセッション式は日本趣味に調和

文學士 黒田鵬心

□木に竹を接ぐ不調和

今日のやうに、日本人が和洋の二重生活を營んで居ると、住宅の建築も之に準じて、日本建築にも西洋間を作り、西洋館にも日本座敷を設備すると云ふ必要が自然起つて來るのである。これが新築する場合には豫め其の考へで遣つて行くから、比較的調和も取れ易いのであるが、借家等の時には、全然日本式の座敷等を應接間にしなければならない處から、木に竹を接合せたやうな不調和さを起させる事がある。現今西洋では隨分日本趣味を取り入れて、装飾や家具等に應用して居るものがあるがあれ等は其の調和を大分考へて遣つて居る事であるから、參照に値あるものであらうと思はれる。

□直線的の東洋趣味

近頃流行して居るセセッションと云へば、普通には直線式の四角い白木で造られた家具の事であると思はれて居るが、セセッションと云ふ字義や、又其の種類から見ても、單に直線と云ふ意ではない。然し兎に角直線的のものは東洋趣味であると思ふ。概して日本造には直線的のもの丶方が調和されやすいのである。

□燈火の備へ

日本間を洋室に用ふる時には床間や違ひ棚のある座敷は誠に具合が惡いと同時にお座敷に床間の無いのは頗る貧弱である。日本座敷で是非考へて見たいと思ふ事は燈火の備へであつて、行燈や雪洞が如何に調和がよくつても、今日之を用ふる事は出來ない。と云つて普通の電燈では横から出しても、上から吊しても又は机上に置いても具合のい丶ものでは無い。之れを座敷に調和させる爲めに、殊に笠等に工夫をこらして木や竹で匡を造つて絹や、其の他の薄布を張り、其の中に電燈を隱して居る方があるが、これ等は一般の實物には無いかも知れないから主婦が少し考へて工夫したらよいと思ふ。

□日本室の採暖器

次は日本座敷の暖温器である調和が取れて採暖が自由なのは爐であると云はれる人達も隨分あるが、爐の切れない場合にはどうするか、座敷に火鉢以外の瓦斯ストーブ等を用ふる事は餘り思はしく無い事であるの

家庭お化粧 (21)

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

＝擦り込んで乾す＝

＝美しい皮膚と艶＝

すべての化粧品は、たゞ附けたゞけで効用が見えるものではありません、附け方によつて効用の多少があることはいふまでもないことであります。クラブ化粧水は附けたのみで、皮膚の表面が調節せられ、柔軟で滑かな美しい生地となりますが、更にその効用を遺憾なく發揮せしめますのには、まづクラブ洗粉で穩かに汚垢を落し・浮いた脂肪分を殘りなく洗ひ去つて了ひましたら、よく拭き乾かし・水分の綺麗に乾き切りました處へクラブ化粧水を附け、擦り込むやうに襟からお顏へかけて、萬遍なく平に引き均し、手の指先がポウッと熱度を覺える加減になるまで擦り込み乾かして了ひ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、近頃お湯をパイプに通して床の間の側の地袋に通はせて居るのを見たが、組織も簡單で費用もかゝらなく適度の採暖が行はれて至極便利であると思つた。

□本來の日本趣味

日本趣味本來の性質から云へば、靜かで、瀟洒して、日光の入らない處に其の特徴があるのであるから床の間でも三幅對の華やかな物よりもすつきりした一幅物に時季折々の花を挿すと云ふ方が望ましい。食器から茶器菓子器に至る迄出來るだけ調和を考へて、紅茶一つ入れるにも、お座敷の時のは、餘り金色のゴタ〱した模樣のつかない器を用ひて貰ひたいと思ふ。要するに日本造は木造であるから其の中の裝飾器具も同じ性質のもので造れば比較的調和が缺ける事はなく、石造、及び金屬の多く用ひられてある西洋館はそれに準じて中の裝飾を行ふと云ふのが、主眼である事を忘れたくはないと思ふ。

豚肉料理

和田むめお

□附揚、（豚ロース肉、生姜、葱、牛蒡人參、鹽、味淋、醬油）葱と生姜を微塵にきざんで、擂鉢でよくすり、ロース肉を叩いて交ぜ合せ、氣永によく擂り合せたならば、其の中に鹽と醬油をさして味をつけ、ざつと擂り合せて、牛蒡、人參の微塵にきざんだのを加へて、長さ一寸五分、巾一寸厚さ一分位の長方形のものを作つて、胡麻油の煮立つた中で兩面を狐色になるまであげます。

□柚子燒き、（大切豚ロース肉、醬油柚子）大切のまゝのロース肉を出來るだけ薄く切り、凡一時間程醬油につけておきます。炭火に金網をかけて豚肉の兩面をやきあげ、二切か三切皿にもつて上から柚子を擦しながらふりかけます。この時こげる程燒きますと、肉はかたくなります。

□豚肉の湯葉卷、（豚肉、玉子、湯葉葱、生姜、醬油）豚肉を挽くか叩くかして細かになし、葱、生姜の微塵にきざんだものと玉子少々と醬油とを加へてよく〱擂り交ぜおき、別に湯葉はぬれ布巾に包んでしんなりとなつた頃に爼板の上にひろげて、其上に右の肉を向ふ一寸、手前を少々殘して一面に平らにならしてのせ、海苔卷きの樣にして手前の方からぐる〱と卷きます。最後の合せ目のところに生玉子を塗つて、沸立つてゐる胡麻油の中で、弱火にて氣永にあげます。中まで揚つたならば、取出して油を切つて七分位の輪切りとなし、二個を皿にもつて醬油又はウスターソースをかけて食べます。

□豚肉鹽むし、（豚ロース大切のまゝ、葱、根生姜、鹽、胡椒）豚肉に强目に鹽と胡椒をふり、三四時間おいてからメイ皿か瀬戸ひき鍋に入れて、上下に葱と生姜のきざんだものをふりかけ、セイロに入れてむします。らくに箸が通るやうになつたならば下ろして、葱や生姜は取除き、二分位の厚さに切つて醬油又はウスターソースでいたゞきます。

□豚肉の油燒、（豚肉大切、メリケン粉、玉葱、バタ）豚肉に鹽と胡椒をふりかけておき、三十分程したらば、メリケン粉をまぶして、バタの煮とかした中で、兩面をいため燒きにします。半ば燒けた頃に水少しと、みぢん切りの玉葱及鹽少しを加へて、何か蓋をしてさつと煮、煮えたらばおろします。

□豚肉の味噌煮、（大切豚肉、並味噌、砂糖、酒、胡椒、大根、人參、ポテト）豚肉大切のまゝを一時間程湯煮して、五六分の賽の目に切り、大根、人參、ポテト等を入れて、更によく煮てからうら漉した味噌と砂糖、酒、胡椒など入れて、又よく煮こみます。細かにきざんだ柚子の皮などふりかけて供するとよろしい。

ますと、手觸りが滑かで柔軟な皮膚となつて、濕つてジト〱した不快な感じもなく、美しいさつぱりとした皮膚になつて了ひます、これと申しますのも、クラブ化粧水は、皮膚の營養と健全な機能とを與へて、完全の皮膚とするものであります上にも、前の方法で御使用になりますと、皮膚の要する潤澤を十分に保ち、皮膚面を汚し、皮膚面を害すべき過剩の脂肪を去つて美しい色艶を增し、健全の皮膚とするのでありますから、脂肪質の皮膚を有せらるゝ方々には是非ともクラブ洗粉を用ひて洗ひ落した後へクラブ化粧水を擦り込むやうに附けて置くことを忘れてはなりません。

クラブ化粧水はその特長を脂肪過多の皮膚に有して居ますけれども、誤て荒性の人が使ましても決して荒る樣な事はありません同じく美しい皮膚に調節するとは申すまでもありませんが念の爲に申して置きます。（廣告）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

方便馬鹿

（上）

廣田花崖

英蘭にゴサムと云ふ町があります。此町には昔から妙な人達が住んで居て、種々と滑稽な物語が傳へられて居ります。

ある日のこと、王様が此町をお通過になるとの報知がありました。其王様は性の善くない酷たらしい方でしたから、ゴサムの人々は彼を憎んで居りました。若し王様が此町へお出でになれば、御自分や家來のために宿舎や食料を徴收されるのであらうし、又御自分の氣に入つた物があれば、遠慮なしに徴發されるに相違ありませんでした。そこで人々は相談會を開きました。「森の大木を伐倒して、町の入口を塞いぢまはうぢやないか。」と賢人の一人が云ひますと外の人々は「皆それがいゝ。」と直に評議は一決いたしました。人々は手に手に斧を持つて出て行きました。町へ這入る大道小道は立どころに丸太や枝で塞がれました。斯うして置けば、王様の騎兵は容易に町へ這入るわけには參りません。強いて這入らうとすれば、新道を切開くか、然もなくばゴサム通過の計畫を捨てゝ他の道を取るかする外、無いやうになりました。

いよ〳〵王様がやつて來ましたが、此有様を見て眞赤になつて怒りました。「朕の行列の道筋へ此木を伐倒したのは誰ぢや。」と、王様は折柄通りかゝつた二人の若者に訊ねました。

「ゴサムの人々でございます。」と若者は答へました。

「さうか。然らば行きて朕は役人を遣はして、町民の總ての鼻を切取つて仕舞うから、とゴサムの人々に云へ。」

若者等は韋駄天の如く町へ飛び込んで、王様の仰せを傳へました。人々の驚愕は申す迄もありません。家から家へと此報知を云ひ傳らしながら、お互に何うしたものかと氣を痛みました。

「吾々は頓智で、王様を入口に食止めた。今度は其頓智で皆の鼻を助けなければならん。」と一人が云ひました。「さうだ。さうだ。だが何うしたものだらう。」と他の人々が云ひました。此處にドビンと云ふ男があつて町中での怜悧者と思はれて居た人ですが、其男の云ふには、「怜悧な爲に罰せられた者は多いが、馬鹿な爲に憂目に逢つたと云ふ話は未だ聞かない。就ては王様がお出でになつたら皆して馬鹿の眞似をしやうぢやないか。」「うまい〳〵。皆して馬鹿の眞似をしやう。」と他の人々は叫びました。

さて塞がれた道を伐開くのは王様の家來等に取つて容易な事ではありませんでした。それ故王様は待ち疲れて、遂々倫敦へ歸つて仕舞ひました。併しある朝未明に王様の役人は、一隊の兵士に守られて森を通り野を越えて町の方へやつて來ました。するとやがて町へ這入らうとする所で奇妙な事をして居ます。老人が大きな石を丘へ轉がし上げて居ると、澤山の若者がそれを眺めて居て、聲を揃へてウン〳〵と呻つて居るのです。役人は馬を止めて何をしてるのかと聞きました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說「力」(六)

木內錠子

　お英は朝の十時頃になつても片附かない勝手元で氣が氣でなく立働いて居ると、金銀細工を職にして居る裏手の家から、鐵槌の音が冴々と響いて來た。お英は流し下で鍋や小皿を磨く手を止めて、其勇ましく生活の奮鬪を傳へて來る槌の音に聞耳立てた。

　毎朝お英が六時頃――一月下旬の日は余程伸びたので、東天の一帶は僅かに夜の名殘を白々と瞬いて居るあけの明星に忍ばせて、全く明け離れて居るにも係はらず、天も地も霜に凍てつく寒氣に、生温かい寢覺の貌を曝す時分、裏手の家の戸はぴつしり締まつて、赤子の泣聲も聞えず、宵の儘の電燈が眠たさうに點つて居るのが、干割れた雨戸の隙から窺はれる事もある。

日が高くなつてから、漸く繰り開けられると、雨戸の音と一緒に、金槌の冴々しい響がどうかすると朝飯の箸を置き切らないお英の耳を驚かす事がある。『職業だから』とお英は自分自身に說明を與へながら、昔女學校時代に暗誦させられた釘鍛冶の英詩を懷しく思ひ浮べるのであつた。

　―朝から晩迄彼は彼の仕事場でたゆみなく鋼鐵盤を鳴り響かして居る。彼の打出す幾百幾千の小さい釘は、彼のいとしい妻子を育む――此樣な梗概で有つたやうに覺えて居る。

　女の自分はたとへ暗い內から起きても、朝の八時前後から自分の自由な時間として仕事につく事は出來ない。と思ふとお英は毎朝毎夕釜を磨いたり味噌を擂つたり、刻み物をしたり、小鍋立をそちこちしたりする煩はしさを際限なく繰返し〳〵して行くのが非常く馬鹿らしい氣がしてならなくなつた。

　結婚して一家を成せば申すに及ばず、縱令一人身でも―如何なる事情のもとにも、女は畢竟善良な家婦であらねばならぬ。有名な佛國革命家のマダム、ローランさへ尙且、馬鈴薯を剝いたり、肉汁の加減を見たりする庖廚の煩瑣な仕事の爲に、論說の草稿を認めたり、哲學論理の書籍を涉獵つて知識の源を肥す時間と勞力とを喜んで、興味を感じて割かれたと云ふ話を念入りに含められた同じ女學校時代の教訓が、更にくつきりと記憶の表面に顯はれた。

　けれども人間の天分にもよる境遇にも關係する、精力の程度によつても亦自然ら差別を生ず可きである。お英は斯う考へつゝ自分の上を振返つて見ると終日次から次へと際限もなく連續して行く家庭の雜事に追はれて空に消えて了ふ其日々々の狀態が云はうやうなく情けなかつた自分の手で營まれる是等の勞働から何が生ずるのであらう。是等の仕事は果して自分の手を待つ可き性質のもので有らうか、何の價値が是等の些々たる勞働に伴なふのであらう。斯うして日に幾時間か宛、何にも益に立たない――お英は決して世間の虛榮にとらはれた女のやうに、水仕の勞働を厭はしいとも賤しいとも思つて居るのではないが自分の仕事に向つて注ぐ時間と勞力とが此方面に吸ひ込まれて行くと思ふと、矢張疎ましいものとしか見えなかつた。

　乏しい自分の精力が繁雜な、而も狹い家庭內の原因結果もないほんの見てくれ丈の仕事にそがれて行くとが、何よりの苦痛として、苛責として、彼女の心をむごたらしく傷けた。けれども彼女の身體は自由ではなかつた、善良なる家婦であらねばな

十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らなかつた。老いたる兩親の膝下に、忠實な孝順な娘であらねばならなかつた。古い家筋の家庭に有勝なとりとめもない習慣式作法にかゝづらつて彼是と手間取る中に、東から登つた太陽がまて暫時もなく、西の推の古木の梢に隠れて了ふのが、貴重な寶物を自分から奪はれるよりも恨めしかつた。そんなら一層の事思ひ切つて、家庭の煩瑣な絆から身を退いたら——彼女は家庭の地位を捨てねばならぬ、父母の子でもかつ女でもなくならねばならぬのである、女でなくなる女のディグニティを失ふと云ふことは、彼女の何よりも怖れる處であつた。

「職業、其職業さへ自分に確定した位置を社會から與へられて居たなら」時々お英は自分と同じ道を心懸けて居る友達と話す事が有つた。

「○○なんかは結構ですわね、あゝいふ社會に固い地盤を持つて居らつしやれば、御自分のお召物を他人にお縫はせなさらうと、お子樣のお世話を女中達に任せてお置きなさらうと—それは御自分から御面倒を御覧になるに越した事はありますまいが—それでも片方で償ひがついて居ますわね。世間の人も許しておくでせう。けれども斯う私等のやうに世界が定らないぢや、さうさう机にかぢりついて斗りも居られませんしね。つまり人から何とも云はれないでも、自分から氣がさすのですわ。」

「ほんとに、ですから私なんか夜丈けしか使へないのですよ、まあ何の事はない居候の内職—」

「居候の内職……」

二人は聲を立てゝ笑つた。

然し斯う云つた跡で、お英は必度後悔するのが例で有つた。假にも愚痴めかしい、あんな事を何故云つたらう、云つたつてどうなるものではない、さういふ暇に何故お前は自分の手で自分の畠を開墾しやうとはしないのか。

お英はじつと自分の姿を眺めて居ると、首玉に縄を付けられてグイ〳〵引張られて行く屠牛のやうな醜さを、熟々卑しめたくなるので有つた。自分の目の前に無限の擴がつて居る開墾地を、力次第で掴み取りの出來る其世界に臨みながら、手をつかねて呆然して居るやうにしか思はれなかつた。

然し時とすると世迷心から、天主から與へられた天分が、餘り自分の上に薄つたのではないかとも思つた。そんなら世間の人は皆玉ばかりを恵まれて來たのであらうか、死でも結構、磨く、—それ一つが總てのやうに考へられた。運命も天分も必竟總てゞはない、只開拓する力であると自分から自分にきつぱり答へると胸が自づと開くやうに覺えた。

新刊紹介

□趣味を求めて（黒田鵬心氏著）東京市の美的觀察に初まり、建築の趣味や、趣味雜誌に亘り、人々の美的觀念を啓發せんと勤められたものであります。（神田區裏神保町六趣味の友社定價六十錢）

□婦人雜誌（二月號）家庭の婦人問題、子供の惡癖と其の矯正法につき、名士の意見を掲ぐる外、每號長井博士の家庭科學あり、田村俊子、岡田幸子、山田邦子女史等の創作もありて、實益と趣味とを兼ねた月刊雜誌であります。（一冊二十錢神田區駿河臺鈴木町十六婦人雜誌社）

邪宗

安中花子

なにものぞ今は昔の彼の夢の跡をふたゝび追へど囁く
魔の園の小人群り我を刺すその如胸にまつはるいたみ
しみ〳〵と思ひ至りて涙しぬこの弱さ故すてられし身と
かへりみてそののかれぬる心かな邪宗の思卵の囁
道やなに人の掟し道やなに思ひあがれど我をみなにて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉米獨國交斷絕　獨逸は去る三十一日新に海戰を宣言し二月一日より無制限に、協商國沿岸海上及封鎖海上に於ける、國船舶襲擊の潛航艇戰を開始する旨米國政府に通牒し來りし爲め、米國政府は自國の商船并に國民保護の爲め、止む無く獨逸との外交の關係を斷絕し、三日午後ウヰルソン大統領は議會に對して之を聲明し、同時に駐獨大使ジエラード氏に對しては歸國を命じ、駐米獨大使ベルンストルフ伯に對しては旅券を交附しました。

◉露都に於ける聯合國會議　近くペトログラードに於て開かるべき聯合國軍事會議の代表者中英、佛、伊、羅、塞、等は既に廿九日露都に入りました。同會議は巴里及び羅馬に開かれたものと同樣のもので今次の戰爭中に開かるべき最大重要の會議の一であると申します。即ち作戰より軍需品の供給、財政等の問題は悉く本會議の討議に上るべしと傳へられます。

◉英首相毒殺の陰謀發覺　本月一日首相ロイド、ヂョージ氏、及び無任所大臣ヘンダーソン氏を毒殺せんとする陰謀發覺して、婦人三名男子一名が捕縛の上告發せられた事件がありました。犯人は何れも知名の人々でありまして、アリス・ホウヰールドン及び其娘ハーリエツト・ウヰールドン并にウヰニー・メーソンの婦人參政論者（何れも學校敎師）及び女婿のアルフレツド・ザーナ・メーソン（化學者）の四名で有ます。首相及びヘンダーソンの兩氏は、元來勞働者救濟を主張した人々でありましたが、開戰以來軍國主義の人となつて了つたので、首相等を變節漢と見たのではあるまいか、又三婦人は今回婦人參政權を主義に於て贊成せられたるも、此の機會に實行させなかつたのを憤つて、此の陰謀に加つたのでは無いかと申されて居ります。

◉英國壯丁召集　英國では今回十八歲の壯丁を召集致しました。又軍務條例に依つて免役せらるべき職業に從事する者の、年齢をも繰り上げて一部の改正を行ひました。

◉慶親王薨去　前清朝の軍機大臣たりし慶親王は、豫て病氣の處、廿八日午後三時天津に於て薨去せられました。親王が他の多數の皇族を抽いて、一人長く要地を保たれたのは、其の溫厚なる性格の致す處であつたとさへ云はれて居らるゝ通り、恩威兩密で如何にも大國の皇族らしい重みを備へて居られました。

◉ロダン翁病む　世界的彫刻家として知られたる佛國のロダン翁は此の頃病篤しと傳へられます。翁は千八百十年巴里に生れ、三度迄美術家の登龍門なるボザー（官立美術學校）の入學試驗を受けて、意を得ず、學歷としてはたゞ一工藝學校を出たに過ぎませんでした。翁は藝術家としてよりも寧ろ職人として其の前半生は過ごされたのでした。有名な「鼻の潰れた男」をサロンに出して刎られたのは廿三歲の時であつたと申します。卅六歲の時作り上げられた「青銅時代」「聖ヂヨンの說教」「三人の影」「イヴ」「フランチエスカの群像」等は洽く人の知るものであります。

◉夕翁歸印　印度詩聖サー、ラビンドラナス、タゴール翁は去る三日米國より再び來邦致されましたが、七日神戸發の英印汽船ゲザゲリ、アブカラ號にてカルカツタに直行いたしました。

◉女子敎育家の懇話會　婦人問題の研究が盛に行はれて居る昨今、其の根本たるべき女子敎育に關する、當事者達の眞面目な研究的會合が疎かにされて居るのを嘆き、且つは各學校間に於ける敎育上の種々の相違を少なからしむる爲め、今回女子高等師範學校長中川謙二郎氏が主唱者となり、來る十七日午後二時から同校に於て同附屬高等女學校主事橫山榮次氏其他府立第一第二、第三高等女學校長、三輪田高女の三輪田元道氏、成女高女の宮田修氏、女子大學の麻生正藏氏等相集まり、女子敎育に關する談話の交換をする事になりました。

◉在留外人の婦人倶樂部　米國大使ガセリイ夫人、大森安仁子夫人、コールメン夫人を始め外交官夫人達の發起によつて、豫て東京婦人倶樂部と云ふ名によつて、日、英、米、佛、露、白、蘭、其他各國の婦人を網羅し、智識交換を行つて居りました。然るに同會は過る廿五日、東都の代表的婦人を白耳義公使館に招いて、日本婦人界の事業を學ばれましたが、今後は現今最も世人の要求する事業を營まんとして居ります。來十七日には神田區北神保町女子青年會館に於て第二回を開き、駐英大使令孃マグドナルド女史の講話があるさうであります。

◉子供公園　東京市中には大小二十一箇所の公園がありますが子供本位の公園は一つもありません爲め、東京市では淺草橋際の廣場を利用して子供の爲めの一小公園を設ける事となりました。然し土地が狹いので大阪の中の島河岸の公園の如く、充分には出來ませんでせうが、設備は全部子供の爲めと云ふ事を絕對の條件として、年長の闖入者から遊戲を妨げられないで、十分面白く遊べるやうにするとの事です。工事は本年四月から着手、豫算は約一萬圓であると申します。

◉子爵母堂を校長に　神田橋際なる東京府敎育會の建物の一部を使用して、故竹澤里子女史が多年心血を注がれた私立神田橋高等女學校は、昨年三月女史が逝かれてから今日迄校長は缺員のまゝでありましたが、今回新に元同校評議員なりし子爵松井康義氏未亡人正子刀自（四二）を校長に戴く事となりました、尙同校は外神田の警察署側に二百五十餘坪を借受けて、新築工事に着手する事になりました。

◉米國へ留學する支那婦人　女子高等師範學校文科を卒業すべき支那留學生李帛瓊（二二）は、雲南省大姚縣の人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であつて、婦人にして我が地歴を專攻したのは鑢が嚆矢でありますが、鑢は卒業が確定したので、更に研究を續ける爲め、二月二十三日横濱出帆米國留學の途に上るさうであります。

◎横濱の倉庫爆發　二日午後三時十五分横濱海岸通り五丁目の横濱商品倉庫會社裏手に在る一倉中にて突然大音響を發して爆發し、同時に大火災を起して木片鐵片は遠く三四丁の四方に飛散し、附近の住宅は悉く戸障子硝子窓を打ち破られ爲めに負傷するもの多く慘狀を極めました。この不時の大爆發原因は在庫品中の鹽素酸曹達の摩擦により生じたる火が、他の揮發性の油に燃焼し、遂に彼の大爆發を演じたものと判明しました。損害は倉庫のみにて約九十萬圓、負傷者五十四名に達しましたが死者を出さなかつたのは幸でした。この騷ぎ中に横濱裁判所に收容中なりし囚人三十名は逃走行方不明となりし等大混亂を極めました。因に損害を蒙りたる町は附近十七箇町に亘り近來稀有の出來事であります。

◎箱根一帶の地震　相州箱根山岳中なる木賀、強羅、宮の下、湯本一帶は去月廿八日夜より本月二日頃迄數々震動あり、卅日夜の如きは實に四十八回の多きに達しましたので、住民の恐怖一方ならず、先を爭つて小瀧に避難致しました。これは大涌谷を中心とせる火山の鳴動に依るものであつて漸次々靜に戻るとの事でありますが、爲めに大小無數の新噴煙口が大涌谷の附近に現れました。

◎珍らしき大雪　卅一日夜來より東海道關ヶ原、柏原間の吹雪殊に烈しく、列車立往生を爲す等近來稀に見る大雪でありました。又秋田地方にも三十日より降雪があり、積雪廂に達しました。これは四十二年來の大雪であると申します。

◎虎疫發生　深川區古石場町十二鍛冶職鈴木留吉妻いれ（二五）及び留吉の實母大谷うめ（五二）が罹病し、二日午後駒込病院に送られました。又牛込區田町本所町等にも患者を出しましたが、何れも死亡し附近一帶大消毒を行ふと共に家族の者ども一時隔離されました。冬期虎疫を出したるは本年が初めてゞあると申します。

女學校だより

▲三輪田高等女學校　同校圖書館は目下校舍續きに新築中ですが、四月迄には完成の筈、尚圖書は宗教、美術、哲學、文學の新聞、雜誌に至る迄一切を網羅して、生徒を積極的に導くとの事です。

▲戸板裁縫の競技會は七七日開催の筈でしたが、都合に依り十日に變更、當日は運針法の競技に始まり、單衣、袷羽織、中コート、寢上げ、子供の帽子、袴等十數種の裁縫競技を行ふ由にていづれも二時間以内に出來上るものであると申します。

公娼廢止運動費
本社宛寄附の分（一口金五錢）

公娼廢止は大正十[illegible]を期して、行はうと申すので、それ迄は連續運動をする積りであります。同運動費は昨年に引續き本社に於て取扱ひますから、奮つて御賛同の上、御寄附下さいますやうにお願ひ申します。

石原まさ（二口）　平松やす（二口）
服部たか（二口）　須田峯（六口）
本儀柳　松平あや
小計十四口　累計六百八十九口

編輯室より

▲本社と同町内に虎疫が發生したと聞かれて、諸方から御親切にお見舞を頂戴いたしますが、其の家は遙か隔つて居りますから、出るにも入るにも通らずに濟みます。どうぞ御安心下さいまし。

▲立春後はわけてうらゝかな日が續きます。硝子戸越しに見ゆる蒼い空を、何となく紅を含んだ梢が彩つて居るのを見ると、直ぐにも筆を捨てゝ、郊外のそゞろ歩きに出かけたくなります。これからは晴るゝもよく、雨もまた長閑なよい時節になります。

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙ノ二、三、四）金參拾圓
△壹等（表紙の裏、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

十八

▲僕の如きは斯う思ふ胃病薬としては太田胃散が覇王だ
●僕の如く平常胃の惡くて困る者は太田胃散を服むに限る
■僕の如く兎角飲べ過る者は缺かさず太田胃散を服むがよい
▲僕の如き大酒家は年が年中胃病藥太田胃散が離されぬ
◎僕の如き甘黨は太田胃散がなければ助からぬ
●僕の如く胃が痛くなり胸がやけたりする者は太田胃散でスグ治る
▲僕の如き不養生な者は太田胃散を常用せんと如何んね
◎僕の如き大の胃病患者は衷心から太田胃散を崇拝するよ
●僕の如く始終太田胃散を服む者は壹圓罐が徳用だ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第九卷 新女界 第二號

一部十二錢半 一年二十七錢一 一年一圓四十錢

二月號

見本申込次第進呈

□學校撰定に就て
□兒童の養護……ドクトル三田谷啓
□讀書の影響と夢……高峯博
□母親の領土……海老名みや子
□哀れな子供たち……大西孝美
□興國の精神……海老名彈正
□小窓のほとり……野口精子
□蜜柑寶……廣田花崖
□蛇の話……加藤延年
□主婦の雜記帳から……一記者
□母規の保護……志立たき子

東京小石川區林町四三 新人社 振替東京一四〇〇五

最新刊

東京生花研究會長 尾崎恒子先生著

生花 投入と盛花

本書は敢て其流派に偏せず其古實に囚はれず眞正なる生花の趣旨、法則により何れの場合にも最も必要なる投入と盛花に就き著者多年の研究と經驗に基かれあらゆる方面より壹百貳拾餘種の圖解を以て懇切丁寧に一々其蘊奥を說き秘訣を述べられたる現今生花書類中他に其比を見ざる最も優良斬新なる珍書なり蓋し女學校、女教師及び生花教授者の良參考書たるは勿論奥樣令孃方の必須缺くべからざる生花寶典なり。

四六版四百餘頁・極彩色意匠表紙
口繪 石版寫眞版入・挿圖 木版百貳拾種
定價 金壹圓參拾錢・送料金八錢

東京市本郷區本郷三丁目十七番地
發行所 三育社
電話下谷五六〇二・振替東京二五一一

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車塲半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

東京市内に評判の

玉おしろい

内科
小兒科
第一家庭病院
院長　醫學士　**加用信憲**
（入院随時）
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

産科、婦人科、小兒科
女醫　**井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七
東京至誠病院

田中館、芳賀、田丸三博士合著
ローマ字讀み方（字綴りがるた添）（三版）　價十錢　送料二錢
字を覺えると同時に練習が積める様にしたことや、字綴りがるたを並べて遊ぶ間にローマ字の綴り方を覺える様にしたことなど、仕組が總て獨得である。

同上三博士合著
ローマ字獨げいこ（字綴りがるた添）（増訂六版）　價廿錢　送料四錢
大人の初學者又は教師には最も適切なもの、國字論、綴り方の要點もあり、文例も種々のものが澤山ある。

名士の筆蹟添
ローマ字習字帖（三版）　價十二錢　郵税二錢
日本語で書いて完全なローマ字習字帖はこれがあるばかり、特に卷末に添へた諸名士の筆蹟は趣味が深い。

ローマ字教授實驗報告書
ローマ字を兒童に教へて見ようと思ふ方に差上げる。
（送料郵券二錢御送附を乞ふ）

發行所　**日本のローマ字社**
東京本郷駒込曙町・振替東京二一五〇四

發賣元　**岩波書店**
東京神田南神保町
電話本局五四二〇・振替東京二六二四〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

中部鐵道管理局長
鐵道院理事
長尾半平著

新刊

禁酒

酒を飮むか廢めるか

四六版◉上製定價五十錢◉並製定價二十錢◉送料六錢

禁酒は國家の休戚に關する大問題である本書は道德的に科學的に政治的に經濟的に飮酒の慘害を詳說し著者中生の實驗を細敍す、新春初頭に當り敢て斯の權威ある著書を我が同胞各位に提供す。

禁酒戰の鬪狀!!!

發行所 東京麹町三丁目 丁(てい)未(び)出版社 電話町二八二〇 振替東京七八四七

ローマ字

第十二巻 第二號

- □世界時事解說 慶大教授 向軍治
- □保守協會の設立をすゝむ 法學士 蒲生俊文
- □再び邦文タイプライターに就て 文學博士 澤柳政太郎
- □雪嶺先生のローマ字論 豐浦豐
- □獨逸の恐るべき譯 東京音樂學校長 湯原元一
- □意外錄 谷泰吉
- □山林經濟 向軍治
- □七及八吉などの字の音 山形師範教諭 近藤光次
- □ローマ字の兄弟としてのエスペラント運動 秋田雨雀
- □絕對的ローマ字論者と相對的ローマ字論者 法學士 加茂正一
- □脫線的人物論 慶大教授 廣井辰太郎
- □挿繪 石井柏亭
- □漱石氏の文章 水野葉舟
- □用なしごと 安藤和風
- □外國語研究欄 向軍治

第三回學藝講演會
詳細は本號廣告欄にて見られよ

定價一册送料共金三十錢 □一年分前金一圓四十錢

東京市麹町區有樂町一の三 ローマ字ひろめ會 振替東京九一一番・電話本局五二五六

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA